NEXCO西日本 ETC専用料金所

NEXCO西日本は、新たに30料金所をETC専用料金所として令和8年3月17日から4月8日の間で順次運用を開始する。

地域	道路名	料金所名	運用開始日時
関西	中国自動車道	宝塚	令和8年3月17日（火）0時
		ひょうご東条	
		加西	
		山崎	令和8年3月18日（水）0時
	第二京阪道路	上鳥羽（入口）	
	山陽自動車道	加古川北	令和8年3月24日（火）0時
		赤穂	
	関西空港自動車道	上之郷	
	阪和自動車道	阪南	令和8年3月25日（水）0時
	阪和自動車道	海南東	
	京滋バイパス	宇治西	
	湯浅御坊道路	川辺	令和8年3月26日（木）0時
中国	山陽自動車道	鴨方	令和8年3月24日（火）0時
		熊毛	
		埴生	
	広島岩国道路	大野	
	中国自動車道	美作	
		北房	令和8年4月8日（水）0時
		東城	
		高田	
		六日市	
	米子自動車道	溝口	
四国	高松自動車道	津田寒川	
	高知自動車道	大豊	
九州	九州自動車道	横川	令和8年3月17日（火）0時
	南九州自動車道（八代日奈久道路）	八代南	
	東九州自動車道	豊前	
		津久見	
	宮崎自動車道	小林	
	長崎自動車道	嬉野	

阪神高速とOsaka Metroが見えるまちフォトコンテスト ～交通インフラがつながる景色～ 作品展開催

大阪ミナミ・アメリカ村の阪神高速1号環状線の高架下で阪神高速㈱が運営する「阪神高速ミナミ交流プラザLoop A」において「阪神高速とOsaka Metroが見えるまちフォトコンテスト～交通インフラがつながる景色～作品展」を開催している。

《作品展名》
阪神高速とOsaka Metroが見えるまちフォトコンテスト～交通インフラがつながる景色～作品展

《場所》
阪神高速ミナミ交流プラザ「Loop A」

《開催日程》
令和8年3月6日（金）～4月14日（火）※水・木曜日は休館、3月21日（土）は音楽イベント開催のため鑑賞できない。

《開館時間》
12時～17時30分

《入館料金》
無料

《主催》
阪神高速道路株式会社

《作品展概要》
令和7年9月16日～12月15日の間、阪神高速道路株式会社と大阪市高速電気軌道株式会社（Osaka Metro）が共同で実施していた「阪神高速とOsaka Metroが見えるまちフォトコンテスト～交通インフラがつながる景色～」に応募された作品がLoop Aに一堂に集結している。（※）

写真を通して大阪の日常移動を支える阪神高速とOsaka Metroが織りなす〝交通インフラがつながる景色〟を体感できる内容となっている。

※展示作品は応募条件を満たしたものに限る。

せとうち島旅フェス2026開催

～島々と学び未来へつなぐ～

https://www.love-setouchi.jp/shimafes2026/

JB本四高速グループは、瀬戸内の島々と出会い、五感で楽しみ、未来へ学びをつなぐ第5回『せとうち島旅フェス2026～島々と学び未来へつなぐ～島々と学び未来へつなぐ～』を、今年も与島PAを中心に開催する。

ステージイベントや「せとうちマルシェ」では、島々の魅力や地域の情報を発信し、会場全体の一体感を演出する。

さらに、普段は目にすることのない「はたらく船」展示や、親子で参加できるSDGs冒険ツアー、橋の内部を探検できるインフラツアーなど、瀬戸内ならではの体験が満載である。

《イベント名称》
せとうち島旅フェス2026～島々と学び未来へつなぐ～

《開催日時》
5月23日（土）・24日（日）各日9時30分～16時00分（天候不良等により、中止になる場合がある。）

《会場》

○本会場
瀬戸中央自動車道　与島PA

○サテライト会場
本島、讃岐広島、牛島（香川県丸亀市）、北木島（岡山県笠岡市）

※入場無料。ただし、与島PAまでの往復の交通費は別途必要。また、サテライト会場までのクルーズ船の料金も別途必要。

《内容》

○ステージイベント
メイン会場にステージを設けて、瀬戸内の島々や「せとうちマルシェ」出店自治体などの魅力発信・情報発信を行うとともに、イベント会場全体の一体感を演出する。

○せとうちマルシェ
瀬戸内のグルメや物産、観光PRブースが大集合する。

○はたらく船展
昨年好評を得た、瀬戸内の島々の暮らしを支える船舶、「はたらく船」を展示するイベントを今年も開催する。

○島旅クルーズ
瀬戸内海の多彩な島々をめぐる3つの特別コースを用意した。各コースの行き先はサテライト会場としてイベントをさらに盛り上げる。なお、各コースの料金は後日発表する。

『5月23日（土）開催のコース』

コース①日本近代化を支えた北木島～光と石の文化紀行～（サテライト会場：北木島（岡山県笠岡市））
北木島の名物である採石の歴史と、その地で育まれた文化をじっくり味わうツアー形式のコース。現地では、石切り場の雄大な景観を望む展望台や、島の物語を映し出す旧映画館「光劇場」など、北木島ならではのスポットを訪問予定。

コース②親子で挑戦！牛島冒険ツアー（サテライト会場：牛島（香川県丸亀市））
瀬戸内の美しい海を守るために、親子で参加できる環境保全クルーズ。普段は与島港からアクセスできない離島を舞台に、海ごみ拾いなどの体験を通じて、楽しみながら環境問題について学べる特別なプログラム。

『5月24日（日）開催のコース』

コース③塩飽諸島くるくるクルーズ（サテライト会場：本島、讃岐広島（香川県丸亀市））
瀬戸内海に浮かぶ塩飽諸島を舞台に、本島へ向かうコース、讃岐広島へ向かうコース、そして新たに本島と讃岐広島を結ぶコースの3つのコース。1つの島をじっくり楽しむことも、2つの島を贅沢に周遊することもできる。自分だけのオリジナルコースを組み立てられることが、このクルーズの最大の魅力。

○インフラツアー
普段は開放していない瀬戸大橋の内部に入ることができるコースを用意している。

高速道路の通行止め・規制情報

【工事通行止め】

◇常磐自動車道　浪江IC～南相馬IC（上下線）
3月31日(火)～4月15日(水)　各日20:00～翌5:00(土日除く)

◇首都高速1号羽田線（下り）　芝浦～勝島間
5月9日（土）0:00～5月10日（日）24:00

◇阪和自動車道　泉南IC～和歌山JCT（上下線）
3月30日(月)～4月18日(土)　各日20:00～翌6:00(土日除く)

【リニューアル工事】

◇中央自動車道
土岐JCT～多治見IC(下り線)　5月7日(木)5:00～7月8日(水)24:00
神坂スマートIC～恵那IC(下り線)　5月11日(月)7:00～7月8日(水)19:00
飯田山本IC～神坂スマートIC(上り線)　5月11日(月)6:00～8月4日(火)24:00
中津川IC(下り線・入口)　5月20日(水)10:00～5月29日(金)21:00

【集中工事】

◇中央自動車道　高井戸IC～八王子IC（上下線）
5月11日（月）～5月29日（金）　平日18:00～翌6:00

◇伊勢湾岸自動車道　刈谷スマートIC～湾岸弥富IC(上下線)
新名神高速道路　菰野IC～草津JCT(上下線)、亀山JCT～亀山西JCT(下り線)
5月11日（月）23:00～6月30日（火）6:00

春の全国交通安全運動

令和8年4月6日(月)～15日(水)

4月10日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」

提言

SA・PAとストリートピアノ

近年、街角やメディアで、ストリートピアノを目にする機会が増えた。誰もが自由に鍵盤に触れ、演奏者も聴衆も音楽を楽しむ光景は、笑顔や拍手を生み、音楽が持つ力を改めて感じさせるものだ。

そんなストリートピアノと、高速道路の関係性について考えてみたい。一見あまり結びつかないようにも思えるが、その可能性は大きいと言えるのではないだろうか。旅の途中で音楽に出会うことは、思い出に残る体験を生み出すからだ。

E76西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）の来島海峡SA（上下共通）では、2022年から4年連続で「しまなみLovePiano®」（主催：瀬戸内しまなみ海道活性化実行委員会／協力：株式会社ヤマハミュージックジャパンほか）が開催されてきた。来島海峡や来島海峡大橋の雄大な景観を間近に臨みながらピアノを弾けるとあって、毎年多くの人で賑わうイベントだ。ピアノは10月下旬から11月上旬の期間限定で設置され、ハロウィンシーズンにちなんだ演奏者特典や限定コラボグルメの発売、有名ピアニストの来場など、演奏を楽しむ仕掛けも豊富に用意された。色鮮やかでポップなデザインのピアノと、鍵盤の向こうに海が広がる光景は、来島海峡SAを訪れる人々にとって忘れられない旅の思い出となったことだろう。今後の開催についても期待を寄せたいところだ。

ほかには、E1A新東名高速道路のNEOPASA浜松（上り・下り）でも、音楽に触れる体験ができる。こちらは音楽の街・浜松ならではの展示「ミュージック・スポット（MUSIC SPOT）」が常設されており、ピアノをはじめとするヤマハやローランドの楽器に触れることが可能だ。地元ミュージシャンや学生によるミニコンサートなども定期的に開催されている点や、一般道から気軽にアクセスできる点など、地域全体の文化交流にも寄与しているといえる。

人々が運転の緊張をほぐし、一息つく場所であるサービスエリア・パーキングエリア。そこにピアノがあれば、ドライバーをはじめ訪れた人々が気軽に音楽に触れ、心をリセットできることだろう。こうした取り組みは、単なる休憩施設としてのサービスを超え、演奏者だけでなく聴衆にとっても、旅の記憶に残る体験を提供している。

サービスエリア・パーキングエリアに設置されるストリートピアノは、すべての人が音楽を楽しむ権利の象徴といえる。旅路に響く一曲が、誰かの思い出を彩り、人と人をつなぐ架け橋になることを願いたい。